

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	彩浜館管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 平井 隆雄	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民及び一般			
根拠法令等	伊予市彩濱館条例			
事業の目的	住民の福祉と利便に供するために市民が有効に活用を行う			
事業の内容	施設の管理運営、貸し館業務、ロビーでの展示活動			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	老朽化による施設・設備の修繕箇所については、順次補修等を行っていく。また、観光パンフレット等による施設のPRを行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	5,664	6,750	3,375	6,427
	人件費	1,220	1,193	636	1,193
	合計	0	7,943	4,011	7,620
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.15
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,220	1,193	636	1,193
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,884	7,943	4,011	7,620

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
施設の利用回数(人数)	回(人)	130(4518)	140(5000)	72(2111)	125(3637)
ロビー展	回	5	5	1	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	5,700	5,800	5,700	5,800	5,800	28,800

成果指標				
成果指標	伊予市の観光施設としてまた地域の集会施設として効果的利用を行い、利用状況をもって成果指数とする。			
指標設定の考え方	当施設の歴史的な背景をアピールすることによって郡中町並みへの導線をつくりながら、当施設の利用数を増加させる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	130(5000)	140(5000)	130(5000)	0
実績	130(4518)	125(3637)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成元年の改築以降、経年劣化が著しい。今後の対策として、施設・設備の定期点検等を実施し、早目の対応が必要である。また、歴史的観光施設として、市内外へのPRを行い、集客力向上を図り、施設の有効活用に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市民会館が取り壊され、利用が増加することが予想されるが、関係機関と連携しながら利用促進を図っていくとともに、歴史的施設としても、市内外へのPRに努めていく必要がある。経年劣化や改修については、利用者の利便性を考慮しながら、対応、検討しなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題